



WWL

WORLD WIDE LEARNING
FOR HIGH SCHOOL STUDENT



広島大学 WWL (ワールド・ワイド・ラーニング)

コンソーシアム構築支援事業

広島大学 WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業

西日本における拠点間のネットワーク構築と、連携大学による高大接続

ALネットワーク拠点の情報集約 HPによる情報と成果の発信 高大接続におけるアドバンスト プレイスメント

異文化間学習・国際理解学習のオンラインセミナーや、地球的課題をテーマとしたフォーラムを実施

平和、ジェンダー、環境などをテーマとしたオンラインセミナー オンラインフォーラムでは講師と高校生が討論

広域的WWLコンソーシアムの構築

西日本のALネットワークの成果を集約 全国拠点機関と連携

WWL カリキュラム開発拠点校 8校

広島大学附属福山高等学校

広島県立広島国泰寺高等学校

長崎県立長崎東高等学校

愛媛大学附属高等学校

岡山県立岡山操山高等学校

熊本県立熊本高等学校

宮崎県立宮崎大宮高等学校

中村学園女子高等学校

- 各県の教育委員会、大学と連携した西日本における拠点校ネットワークの構築
- 高大連携のオンラインセミナーの実施
- 高大接続のアドバンスト プレイスマントを検討

イノベータータイプなグローバル人材育成を実施する学校 56校

広島大学附属高等学校
広島市立舟入高等学校
広島県立呉三津田高等学校
広島県立広島高等学校
広島県立福山誠之館高等学校
広島県立叡智学園高等学校
広島県立西条農業高等学校
福山市立福山高等学校
広島女学院高等学校
ノートルダム清心高等学校
武田高等学校
英数学館中学校・高等学校
広島県立賀茂高等学校
近畿大学附属広島高等学校東広島校
広島市立基町高等学校

岡山県立岡山一宮高等学校
岡山県立岡山城東高等学校
岡山県立岡山工業高等学校
岡山県立倉敷天城高等学校
岡山県立倉敷中央高等学校
岡山県立玉島高等学校
岡山県立和気閑谷高等学校
岡山県立岡山大安寺中等教育学校
岡山県立津山高等学校
山口県立下関西高等学校
山口県立山口高等学校
鳥取県立鳥取西高等学校
鳥取県立米子東高等学校
島根県立出雲高等学校
島根県立浜田高等学校

イノベータータイプなグローバル人材育成を実施する学校 56校

愛媛県立松山東高等学校
愛媛県立西条高等学校
愛媛県立今治西高等学校
愛媛県立宇和島南中等教育学校
平成済美中等教育学校
愛媛県立八幡浜高等学校
高知県立高知国際高等学校
高知県立追手前高等学校
徳島県立徳島北高等学校
徳島県立城東高等学校
香川県立高松高等学校
香川県立丸亀高等学校

福岡県立香住丘高等学校
福岡県立福岡高等学校
福岡県立小倉高等学校
長崎県立諫早高等学校
長崎県立長崎西高等学校
佐賀県立佐賀西高等学校
大分県立大分舞鶴高等学校
大分県立大分上野丘高等学校
宮崎県立宮崎南高等学校
鹿児島県立鶴丸高等学校
鹿児島県立甲南高等学校
沖縄県立那覇国際高等学校
沖縄県立琉陽高等学校
沖縄県立首里高等学校

・今後も追加予定

広域的WWLコンソーシアムの構築



- 全国拠点機関と連携
- 西日本におけるALネットワークの成果を集約

実績報告(2023年度)

オンラインセミナー 申込人数		属性	中学校 生徒	中学校 教職員	高校 生徒	高校 教職員	大学 学生・院生	大学 教職員	その他	総計
日時	開催形式									
2023年4月24日-5月8日	オンデマンド	新しいキャリアを開拓する力	0	0	9	10	2	2	2	25
2023年6月9日	オンライン	ウクライナから戦争と平和を考える	0	1	85	21	117	8	9	241
	対面		0	0	0	2	24	2	0	28
2023年7月10日-7月23日	オンデマンド	ウクライナから戦争と平和を考える	0	0	9	16	0	1	0	26
2023年7月14日	オンライン	哲学するってどういうこと？	1	0	16	28	18	2	1	66
2023年7月21日	オンライン	「白人」「黒人」「黄色人種」のちがいは存在するのか	3	0	27	27	70	1	2	130
2023年7月24日-8月6日	オンデマンド	英語はなぜ難しいのかー第二言語習得と異文化コミュニケーションの視点から	0	0	51	43	8	1	2	105
2023年8月7日-8月20日	オンデマンド	Making an Effective Presentation in English	0	0	73	19	6	0	4	102
2023年9月8日	オンライン	『ガリヴァー旅行記』の英語を読む	0	0	30	13	0	1	0	44
2023年9月22日	オンライン	オオサンショウウオの交雑種問題を考える	0	0	19	7	2	1	1	30
2023年9月25日-10月8日	オンデマンド	哲学するってどういうこと？	0	0	26	9	2	1	2	40
2023年10月9日-10月22日	オンデマンド	「白人」「黒人」「黄色人種」のちがいは存在するのか	0	1	6	6	2	1	1	17
2023年10月27日	オンライン	通知表の国際比較：日本とドイツを中心に	1	0	36	18	29	5	3	92
2023年10月30日-11月12日	オンデマンド	『ガリヴァー旅行記』の英語を読む	0	0	18	10	0	0	1	29
2023年11月13日-11月26日	オンデマンド	オオサンショウウオの交雑種問題を考える	0	0	21	6	0	0	0	27
2023年12月22日	オンライン	新しい価値観と生活スタイルを創造するバリリゼーション：西アフリカ・サヘルの都市の清掃と緑化	0	2	19	17	34	4	5	81
2024年1月8日-1月21日	オンデマンド	通知表の国際比較ー日本とドイツを中心に	0	0	17	9	2	4	1	33
2024年1月22日-2月4日	オンデマンド	新しい価値観と生活スタイルを創造するバリリゼーション：西アフリカ・サヘルの都市の清掃と緑化	2	0	7	9	2	0	0	20
2024年2月9日	オンライン	アイヌ〜二風谷での育ち〜	1	0	11	14	6	9	12	53
2024年3月4日-3月17日	オンデマンド	アイヌ〜二風谷での育ち〜	0	0	212	6	3	2	0	223
2024年3月18日-3月31日	オンデマンド	オンラインフォーラム	0	0	16	8	1	2	0	27
総計			8	4	708	298	328	47	46	1439

フォーラムの参加者数は、89名でした。

実績報告(2024年度)

オンラインセミナー申し込み人数		属性	高校生	高校教 職員	大学生 ・院生	大学教 職員	その他	総計
日時	開催形式	セミナー名						
2024年7月26日	オンライン	国境なき医師団の活動を通じて、 本当の援助を考える	114	3				117
2024年8月1日～30日	オンデマンド	焼畑は環境を破壊するのか？-グローバルスケールでの森林破壊とローカルスケールでの人々の生活から環境問題を考える-	314	15	56	2		387
2024年8月1日～30日	オンデマンド	「白人」「黒人」「黄色人種」のちがいは存在するのか	216	22	57	2	2	299
2024年8月1日～30日	オンデマンド	Making an Effective Presentation in English	50	15	1	2		68
2024年8月5日	対面開催	国連大学訪問と討論会	12	1				13
2024年9月1日～30日	オンデマンド	アイヌ～二風谷での育ち～	318	7	1			326
2024年9月13日	オンライン	読解力がなぜ必要になるのか？AI時代の読解力	20	21		2		43
2024年9月20日	オンライン	〈哲学対話〉のすすめ——深く豊かな探求のために	27	13		1	1	42
2024年10月19日～11月29日	オンデマンド	読解力がなぜ必要になるのか？AI時代の読解力	432	32	2	2	1	469
2024年10月19日～11月29日	オンデマンド	〈哲学対話〉のすすめ——深く豊かな探求のために	120	15	1	4		140
2024年10月25日	オンライン	生物多様性はなぜ必要なのか	20	4	46	1		71
2024年11月15日	オンライン	<民族>再考—現代世界を読み解き直す窓として—	19	7	47	3		76
2024年11月22日	オンライン	カースト制度から考えるインド社会	26	9	23	2	1	61
2024年11月30日～2025年1月10日	オンデマンド	生物多様性はなぜ必要なのか	482	17	3	4	3	509
2024年12月14日～2025年1月14日	オンデマンド	<民族>再考—現代世界を読み解き直す窓として—	269	13	2	2	3	289
2024年12月14日～2025年1月14日	オンデマンド	カースト制度から考えるインド社会	172	15	2	3	3	195
2024年12月20日	オンライン	「人の心の中に平和のとりでを築く」ために	34	3		1	1	39
2025年1月24日	オンライン	私たちが望む世界を実現するために	27	5	1	1	4	38
2025年2月1日～2月28日	オンデマンド	国境なき医師団の活動を通じて、 本当の援助を考える	274	11	1	2		288
2025年2月1日～2月28日	オンデマンド	私たちが望む世界を実現するために	262	12	1	1		276
2025年2月1日～2月28日	オンデマンド	「人の心の中に平和のとりでを築く」ために	260	11	1	2	1	275
総計			3468	251	245	37	20	4021

- 2023年度
総参加者数 1439人
うち高校生 708人(約49%)

オンデマンド 634人
うち高校生 465人(約73%)

- 2024年度
総参加者数 4021人
うち高校生 3468人(約86%)

オンデマンド 3521人
うち高校生 3169人(約90%)

感想



文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業

文部科学省

生物多様性はなぜ必要なのか？

持続可能な開発目標（SDGs）に「海の豊かさを守ろう」と「陸の豊かさも守ろう」があげられています。生物多様性を守ることはその中の重要な項目になります。生物多様性は、ある1つの生物種の中での遺伝子の多様性、多くの生物種が存在しているという意味での種間の多様性、さまざまな生物種が有機的に結びついて成り立っている生態系の多様性からなります。現代は、これらの多様性が急速に損なわれており、地球規模で対処すべき問題になっています。なぜ生物多様性は大切なのでしょう。



広島大学大学院
人間社会科学研究科 教授
浅野 敏久 先生

<プロフィール>

広島大学大学院人間社会科学研究科教授。専門は人文地理学。環境市民運動と地域の関わりや、湿地や野生生物の保全につながる教育・観光利用に関心をもっています。著書に『宍道湖・中海と霞ヶ浦 環境運動の地理学』、編著に『エコミュージアムと大学博物館』、共編著に『自然の社会地理』など。

「生物多様性はなぜ必要なのか」

- ・とても関心深い内容でした。生物多様性という大きなテーマをどのようにして身近な問題に落とし込むか、難しいですが将来のためには必要なのでこれから考えてみようと思います。
- ・自分では生態系維持の大切さを分かっているつもりでも人に説明しようとする途端に出来なくなったので、もう一度考えてみたい。
- ・本セミナーで扱われた生態系への影響の具体事例は、システム思考の育成のために大変分かりやすく、生徒も前のめりで視聴していました。貴重なご講義、ありがとうございました。

【対象】

WWLコンソーシアム拠点校・
連携校の高校生と教職員の皆様

隣のQRコード、またはWWLコンソーシアムのHPより
10月23日までにお申し込みください。



10/25

16:10 ~ 17:00



お問い合わせ
WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム事務局
wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号 広島大学教育学部内

感想



文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業

文部科学省

「民族」再考—現代世界を読み解き直す窓として—

「民族とは何か」という問いに、日本の研究者は未だに明確な答えを出せていない。それは、日本語としての「民族」が安易な定義を拒む厄介な概念であると同時に、この言葉自体が政治化してしまっているからである。一方、そうした学者たちの思案をよそに、民族にまつわる報道が連日世界のメディアをにぎわせてもいる。ウクライナ情勢、パレスチナ問題、カタルーニャ独立運動、アマゾンの先住民族居住区における乱開発などもすべて、民族的アイデンティティの多様な形成過程や異なる民族間の複雑な関係に端を発するものだと言える。本講義では、このタイミングを捉え、現代世界を読み解き直す窓としての「民族」についてじっくりと考えてみたい。



東京都立大学大学院
人文科学研究科 教授
綾部 真雄 先生

東京都立大学人文社会学部教授。博士(社会人類学)。筑波大学第二学群比較文化学類(学部)、東京都立大学社会科学研究所(大学院)、タイ国チェンマイ大学社会学部特別研究員、成蹊大学准教授などを経て、現在、東京都立大学人文社会学部人間社会学科社会人類学分野教授。文化(社会)人類学、エスニック・セキュリティ研究、少数民族研究などを専門とし、30年以上にわたってタイの山地民における文化復興運動に深く関わっている。

【対象】

WWLコンソーシアム拠点校・
連携校の高校生と教職員の皆様

右のQRコード、または広島大学WWLコンソーシアムの
HPより11月13日までに申し込みください。



11/15
Fri.
16:10 ~ 17:00



お問い合わせ
広島大学WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム事務局
wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp
〒739-8524 広島県広島市鏡山1丁目1番1号 広島大学教育学部内

「〈民族〉再考 —現代世界を読み解き直す窓として—」

- 民族に対する印象や捉え方が大きく変わる非常に興味深い講義の内容でした。
- 自身が今まで思っていた民族というイメージとは違う学問的な視点で分析をされており、聞いていてとても興味が湧いた。
- 興味深い内容のセミナーを行なっていただきありがとうございました。自分の中での民族と人種理解・認識が大きく変わる機会となりました。
- 人類学の見方・考え方(指導要領的)を使うと、民族や人種をこのように見ることができると気づかされました。

感想



文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業

カースト制度から考えるインド社会

中国を抜き世界一の人口となったインド。最近では「グローバル・サウスの盟主」などと呼ばれ、ニュースでもよく話題に上がるようになりました。巨大な人口を背景に経済規模も日本を追い越す勢いです。ですが、インドはまだまだ日本にとっては未知の国なのではないでしょうか？数学のできる頭の良いインド人、差別がひどい国、突然踊り出すインド映画など、そのイメージは極端で断片的です。今回は少しめんどくさい「カースト」のお話を通じて、現代インド社会を考えてみたいと思います。



京都大学大学院
アジア・アフリカ地域研究科 教授

池亀 彩先生

池亀彩 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科、教授。専門は社会人類学、南アジア研究。日本南アジア学会事務局長。主に南インド・カルナータカ州を中心に、王族カーストやグルと呼ばれる宗教リーダー、またダリトと呼ばれる旧不可触民によるローカルな政治運動などを研究しています。著書にPrincely India Re-imagined (2013, Routledge)、『インド残酷物語 世界一たくましい民』(2021年集英社新書)。編著にThe Guru in South Asia (2012, Routledge)など。

【対象】

WWLコンソーシアム拠点校・
連携校の高校生と教職員の皆様

右のQRコード、または広島大学WWLコンソーシアムの
HPより11月20日までに申し込みにください。



11/22

16:10 ~ 17:00

Fri.

お問い合わせ

広島大学WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム事務局

wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号 広島大学教育学部内

「カースト制度から考えるインド社会」

- カースト制度について自分自身で持っていたイメージと実際の形式について異なる点がいくつかあった。
- 今はもうほとんどカースト制度が存在しない、という話も聞くこともあり、実際インドのカーストがどのようになっているのか、全く知らずにいました。これからも自発的に調べてみたいと思います。
- インドのカースト制度について、今までは単語しか知らなかったが歴史的背景を知ることができた。
- 地理でインドのカースト制度について扱うので、とても参考になりました。特にICT産業の発展については、教科書にすら間違ったことが書かれていることがわかりました。

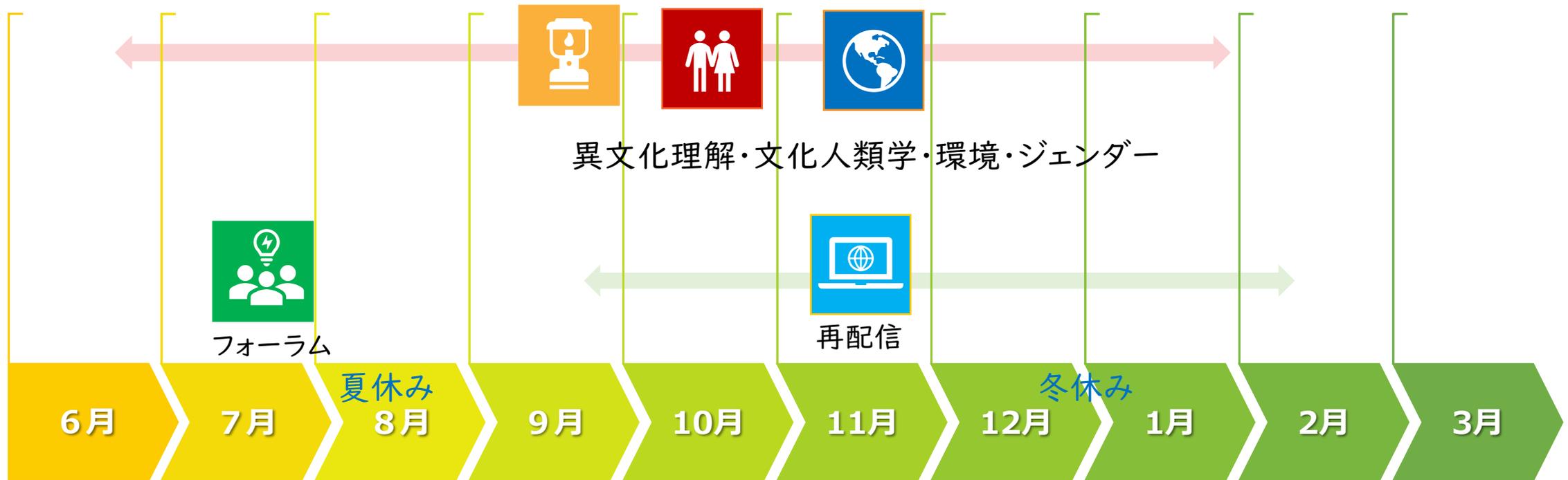
国連大学見学ツアー（2024年8月5日）



研究の道に進みたい、海外で働きたいと考えている全国の高校生を対象に実施し、国連大学の職員さんとの会話や施設の見学、グループディスカッションを行いました。

2025年度は国連UNITAR広島事務所を訪れる予定です。

2025年度 オンライン セミナー・フォーラム 実施計画



- ・オンラインセミナー（5回）、フォーラム（1回）を実施
- ・金曜日の16:10～17:00を予定
- ・セミナーは、40分の講義+10分の質疑応答で構成

オンラインフォーラム(7月25日実施予定)

「『取り残された人たち』を考える。
～国境なき医師団の現場から～」



文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業

文部科学省

ONLINE FORUM

「取り残された人たち」を考える。
～国境なき医師団の現場から～

<国境なき医師団について>

国境なき医師団(Médecins Sans Frontières=MSF)は、民間で非営利の医療・人道援助団体です。紛争や自然災害、貧困などにより危機に直面する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。1971年にフランスで設立し、1999年には活動の実績が認められノーベル平和賞を受賞しました。



© MSF

国境なき医師団(MSF)
総合診療医・救急医・疫学専門家
西野 恭平氏

<プロフィール>

東京都出身。2004年信州大学医学部卒業。2004年より国際医療研究センター(旧:国際医療センター)で小児科専攻として初期・後期研修を行う。その後、NGOに所属し、2007～2008年アフガニスタン、2009年ミャンマーで医療活動に従事。2010年から帝京大学医学部付属病院救急部所属。2014年、ロンドン大学衛生熱帯医大学院にて途上国公衆衛生学修士号を取得。2015年からWHO本部にてテクニカルオフィサーとしてアルボウイルスコントロールチームに所属。アウトブレイク対応や関連ガイドライン作成等を担当。2018年よりMSFに参加。2018年南スーダンでは医師として、バングラデシュ以降の派遣では疫学専門家として活動。2024年9月聖路加国際大学公衆衛生大学院博士課程取得。最優秀学生及び学長賞を受賞。非営利型一般社団法人Seeds代表。

<MSF活動歴>

2018年3～9月	南スーダン
2018年12月～2019年1月	バングラデシュ(ロヒンギャ難民キャンプ)
2019年8月～12月	ナイジェリア(国内避難民キャンプ)
2020年5月～6月	日本(新型コロナウイルス感染症 調査チーム)
2020年8月～11月	南スーダン(新型コロナウイルス感染症)
2024年1月～4月	スーダン(感染症アウトブレイク対応)

—PROGRAM—

- *グループディスカッション
 - *各グループによる発表
 - *コメント・講評
- ※広島大学の大学院生によるファシリテートのもと、ディスカッションを行います。

【対象】※定員 先着100名

WWLコンソーシアム拠点校・連携校の
高校生と教職員の皆様

右のQRコード、または広島大学WWLコンソーシアムの
HPより7月22日までに申し込みください。



お問い合わせ

広島大学WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム事務局

wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号 広島大学教育学部内

7/25 日

15:30 ~ 17:00

セミナー



グループディスカッション



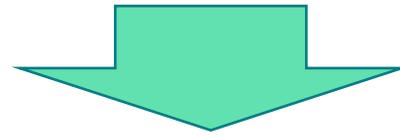
全体での発表



コメント、批評

オンラインフォーラム

話題提供



各グループに分かれて、討論

ブレイクアウトセッション

ファシリテーター

広島大学 教育学部
学生

グループ1

ファシリテーター

広島大学 総合科学部
国際共創学科 留学生

グループ2

ファシリテーター

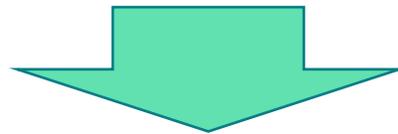
広島大学大学院
人間社会科学研究科 院生

グループ3

ファシリテーター

広島大学大学院
人間社会科学研究科 院生

グループ4



各グループの意見を発表・全員で共有



再配信

- 希望するオンラインセミナーが受講できなかった場合に備え、再配信を行います
- 再配信では、1回目のオンラインセミナーの録画を視聴して頂きます
- 質疑応答は、講師と直接やり取りができます
- 再配信のオンラインセミナーは、8月以降に行う予定です



感想・評価

- オンラインセミナー、オンラインフォーラム終了後に、アンケートを行います
- Google フォームを用いて、感想や評価を記入して頂きます
- オンラインセミナー、フォーラムの終了後に、QRコードをお示しして、入力画面に入って頂く予定です
- アンケートの結果は、広島大学WWL公式ウェブサイトにて、掲載します



アドバンスト プレイスメントの検討材料に

Q&A



広島大学WWLコンソーシアム構築支援事業
文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)
コンソーシアム構築支援事業



文部科学省

本事業について

セミナー・フォーラムのご案内

コンソーシアム加盟校

お問い合わせ

HOME / Q&A一覧

Q&A

Q. 高校地理の授業でも扱う、地理学の環境可能論と環境決定論、人口と資源消費の傾向におけるボーズラップなどの楽観的見方と新マルサスの見解などの悲観的見方も、生態系へのアプローチの考え方として使っても支障はないでしょうか。

WWLコンソーシアムオンラインセミナー 『生物多様性はなぜ必要なのか?』

Q. 好き嫌いという理由でストレスなどに注目して人の豊かさを求めるために駆除するという考え方は人間中心主義といえるのか気になりました。

WWLコンソーシアムオンラインセミナー 『生物多様性はなぜ必要なのか?』

Q. 人間中心主義でない考え方をすると、人間が作ってきた環境を容易に変えてしまう技術を手放し、例えば日本の江戸時代以前までの文化等の環境と共存している状況に近くする必要があるように思います。実際、人間中心主義でない考え方ではこのようになるのでしょうか。

WWLコンソーシアムオンラインセミナー 『生物多様性はなぜ必要なのか?』

セミナー・フォーラムのご案内

> 2025年度年間スケジュール

> 2025年度のセミナーの予定

> Q&A

> 過去のセミナー

> オンラインセミナーのご案内

> オンラインフォーラムのご案内

Question

WWLコンソーシアムオンラインセミナー 『生物多様性はなぜ必要なのか？』

人間中心主義でない考え方をすると、人間が作ってきた環境を容易に変えてしまう技術を手放し、例えば日本の江戸時代以前までの文化等の環境と共存している状況に近くする必要があるように思います。実際、人間中心主義でない考え方ではこのようになるのでしょうか。

Answer

そんな極端なことを主張する人はほとんどいないと思います（まったくいないとは断言できません）。生態系中心主義の立場であれば、なんらかの行為をする際に「人間にとっての利益が最優先される」とするのではなく、「生態系のバランスを崩さないよう行動することをまず考えるべきだ」ということかと思います。

オンラインセミナー・フォーラムのお申し込み方法

1

広島大学 WWLコンソーシアム構築支援事業 ホームページ
<https://wwl2022ysh.hiroshima-u.ac.jp/>

The screenshot shows the homepage of the Hiroshima University WWL Consortium Construction Support Project. At the top left, there is a logo for the project, which includes the text '広島大学WWLコンソーシアム構築支援事業' and '文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) 広島大学 コンソーシアム構築支援事業'. To the right of the logo are navigation links: '本事業について', 'セミナー・フォーラムのご案内', and 'コンソーシアム加盟校'. Further right is a blue button with a white envelope icon and the text 'お問い合わせ'. Below the navigation bar, there are two main navigation buttons: a blue one on the left with a calendar icon and the text '> オンラインセミナーのご案内', and an orange one on the right with a laptop icon and the text '> オンラインフォーラムのご案内'. The main content area features the text 'WWL WORLD WIDE LEARNING FOR HIGH SCHOOL STUDENT' in large blue and white letters, followed by '広島大学WWLコンソーシアム構築支援事業' in smaller white text. The background of the main content area is a photograph of a globe wearing a black graduation cap with a red tassel, sitting on a desk with a pen and a notebook.

オンラインセミナー・フォーラムのお申し込み方法



広島大学WWLコンソーシアム構築支援事業
文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)
コンソーシアム構築支援事業



文部科学省

本事業について セミナー・フォーラムのご案内 コンソーシアム加盟校

お問い合わせ

2

> オンラインセミナーのご案内

> オンラインフォーラムのご案内

オンラインセミナー・フォーラムのご案内をクリック

3

お申し込みフォーム

セミナー詳細・講師紹介

セミナー 2025年9月19日(金) 16:10~17:00

天然知能で世界を突き抜ける

郡司 幸夫先生 (早稲田大学基幹理工学部表現工学専攻 准教授)

> 申し込み > 詳細をみる

セミナー 2025年10月3日(金) 16:10~17:00

イスラームってなあに？世界史の知識と現代をつなぐ

後藤絵美 (東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授)

> 申し込み > 詳細をみる

4

実施日の3日前までに、google
フォームに、学校名、学年、人数な
どを入力

9月19日(金)

早稲田大学基幹理工学部表現工学科教授 郡司幸夫先生



「天然知能で世界を突き抜ける」

我々は無意識のうちに、人間の思考を計算であると規定してしまう。思考とは何かを形式化した数学者が、計算機を発明したのだから、それは仕方のないことでもある。知覚される状況を「問題」と捉え、それを「解決」することで計算が完了する。それはもはやAIが代わってやってくれる。

人間のすべきことは、与えられた問題を解こうとしながらも、問題が問題とならない次元を見つけ、既存の世界を突き抜けていくことだ。しかしその方法は何かあるのか。科学は、基本的に試行錯誤以外にないと答える。

しかし芸術家は無意識のうちに試行錯誤よりも確率の高い方法で「作品化」の賭けに出る。その方法=天然知能を具体例と共に示そう。

10月3日(金)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授

後藤絵美先生



「イスラームってなあに？」

世界史の知識と現代をつなぐ」

中学校や高校の授業ではイスラーム教にまつわる過去が主に扱われ、現在のことを知る機会は多くありません。一方、イスラーム教徒(ムスリム)は、近年、世界人口の4分の1を占めると言われるほど存在感を高めています。

みなさんも一緒に勉強をしたり、仕事をしたり、ご近所になったり、友達づき合いをしたりすることがきっとあるでしょう。

本講義では、イスラーム教についての基本的な事柄を知るとともに、それを信仰する人々が何を大切にしているのか、その暮らしや考え方がどれほどの多様性をもっているのかを、具体的に見ていきます。

10月17日(金)

東京大学大学院情報学環教授 田中東子先生



「メディア文化とジェンダー」

みなさんは、普段どのようなメディアを使っているでしょうか？情報の収集やコミュニケーションを、どのようなメディアを利用して行っているでしょうか？

現代社会の中で、みなさんのコミュニケーションは様々なメディアや情報機器を通じてやり取りされています。また、メディアや情報機器を通じてやり取りされるデータや情報、コミュニケーションは「メディア文化」を形成し、みなさんのものの見方や考え方に多くの影響を与えています。

この講演では、特に「ジェンダー」という観点から、みなさんが日々接しているメディア文化が性別に基づくどのような特徴を持っているのか、どのような問題や課題を抱え込んでいるのか、という点について、明らかにしていきたいと考えています。

11月14日(金)

広島大学大学院総合生命科学研究科教授 西堀正英先生



「ツキノワグマやニホンジカなどの野生動物はどこからやってきてどこで暮らしているのか?~DNAから野生動物の生態や生物多様性を観る~」

ツキノワグマの目撃情報がニュースで報道され、里山のみならず街中の畑までニホンジカがやって来るようになり、人身事故や農作物被害が急増し、人と動物の在り方をよく考える必要がでてきました。そのためにはその対象、つまりツキノワグマやニホンジカのことを「よく知る」必要があります。

それら動物自体のことは動物園や自然史博物館に行けば学べますが、それら動物の「生きざま」は動物が棲むフィールドに出向いて、さらには会って観察する必要があります。しかしながらそれには時間とコストがかかるのみならず危険も伴います。

そこでそれら野生動物の生息や生態、あるいは多様性などを生物が持つDNA情報から観察し、それを基にともに考えてみましょう。



オンラインセミナー スケジュール

日程	講師	セミナータイトル
9月19日(金)	早稲田大学基幹理工学部教授 郡司幸夫先生	天然知能で世界を突き抜ける
10月3日(金)	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授 後藤絵美先生	イスラームってなあに?世界史の知識と現代をつなぐ
10月17日(金)	東京大学大学院情報学環教授 田中東子先生	メディア文化とジェンダー
11月14日(金)	広島大学大学院総合生命科学研究科教授 西堀正英先生	ツキノワグマやニホンジカなどの野生動物はどこから やってきてどこで暮らしているのか? ~DNAから野生動物の生態や生物多様性を観る~
日程検討中 (12月~1月を 予定)	慶応義塾大学環境情報学部教授 今井むつみ 先生	調整中

オンラインフォーラム スケジュール

日程	講師	セミナータイトル
7月25日(金)	国境なき医師団 西野恭平 先生	「取り残された人たち」を考える。 ~国境なき医師団の現場から~

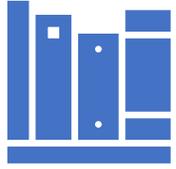
今後の課題

学校との日程調整

参加者の確保

講師との日程調整

HPの維持調整



教育委員会、拠点校、連携校の先生方へ

お願いとお伺い

- オンライン セミナー・フォーラムのご案内
- 再配信のご希望の時間帯
- 受講される学年・人数（予定）
- オンラインセミナーにおける質疑応答、
フォーラムにおけるブレイクアウト・セッションの実施方法



WWL

WORLD WIDE LEARNING
FOR HIGH SCHOOL STUDENT

広島大学 WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業 事務局

公式サイト <https://wwl2022ysh.hiroshima-u.ac.jp/>

お問い合わせ wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp